

第123回

2015. 11. 9

企業経営動向調査

公益財団法人 徳島経済研究所

調査目的	徳島県内の企業動向を的確に把握すること
対象企業	県内主要企業315社、回答企業199社、回答率63.2%
調査対象期間	2015年7～9月期の実績、10～12月期および2016年1～3月期の予想
調査時点	2015年10月上旬～下旬

要約

7～9月期の業況判断はほぼ横ばい 10～12月期は改善、1～3月期は悪化の見通し

県内企業（全産業）経営動向調査結果によれば、業況判断BSIについては、4～6月期と比べ、7～9月期（前期→当期： $\Delta 12 \rightarrow \Delta 13$ ）はほぼ横ばいとなった。もっとも、改善を見込んだ前回調査時の予想（ ± 0 ）と比べると低い水準に留まっている。業種別では、製造業（同： $\Delta 14 \rightarrow \Delta 19$ ）がやや悪化した一方、非製造業（同： $\Delta 12 \rightarrow \Delta 11$ ）はほぼ横ばいであった。

先行きについては、10～12月期の業況判断（+5）は、景気の緩やかな回復が続いている現状を反映し、改善する見通しである。一方、来年1～3月期の業況判断（ $\Delta 9$ ）は、悪化する見通しである。

7～9月期の設備投資は、実施企業の比率は前年同期より上昇し、総投資額も大手製造業での大幅な増加などにより前年同期比102.3%増の約276億円となった。一方、先行き10～12月期の計画は、実施企業の比率は前年同期からやや低下し、金額も同6.8%減の見込みである。

今後1年間の設備投資意欲については、製造業、非製造業ともに改善し、全業種でも3期ぶりに改善している。

1. 概況 (全産業)

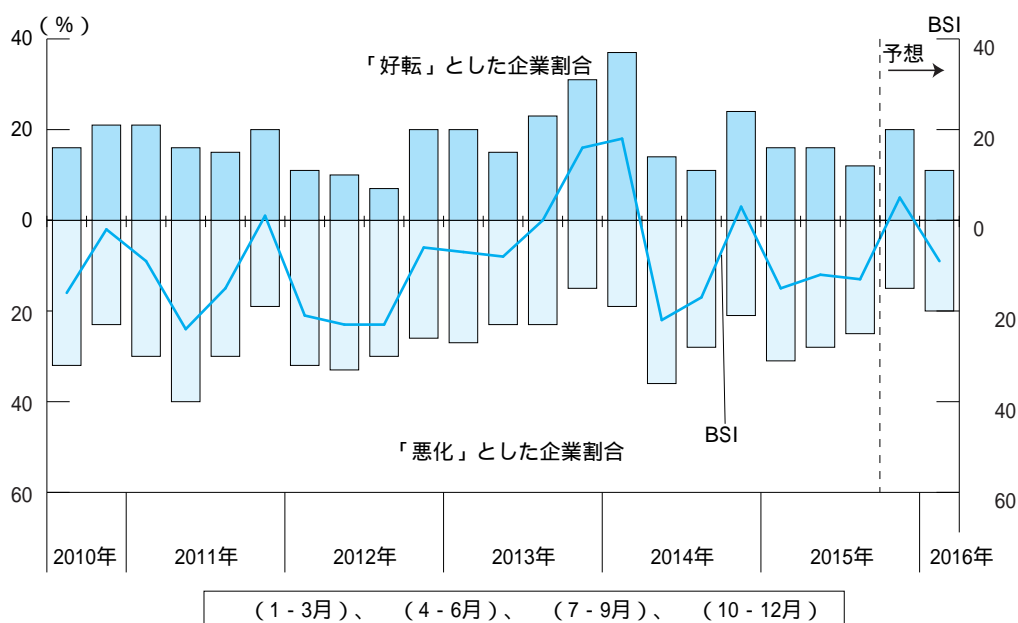
【2015年7～9月期の実績】 業況判断はほぼ横ばいだが、前回調査時予想よりも低い水準

県内企業の当期（2015年7～9月期、以下同じ）の動向をみると、好転、悪化とも比率が同程度低下したことから、4～6月期と比べほぼ横ばいとなった。

BSI（業況が「好転（増加）」と回答した企業割合から「悪化（減少）」と回答した企業割合を引いた数値）でみると、前期に比べ、売上げBSIは $\Delta 8 \rightarrow \Delta 1$ 、収益BSIは $\Delta 12 \rightarrow \Delta 2$ と改善したものの、業況判断BSIは $\Delta 12 \rightarrow \Delta 13$ に留まった。また、前回調査時の業況判断BSIの7～9月期予想（ ± 0 ）よりも低くなっている。

7～9月期の業況判断BSIを2010年からみると、 $\Delta 16 \rightarrow \Delta 15 \rightarrow \Delta 23 \rightarrow \pm 0 \rightarrow \Delta 17 \rightarrow \Delta 13$ （今回）と推移しており、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減がみられた前年同期と比べるとやや上昇している。

企業経営者による業況判断



— 図の見方 —

- ① アンケートでは、売上げ、経常利益、業況の各項目について、前期に比べて「好転（増加）」「不変」「悪化（減少）」の回答を求めており、BSIはこのうち「好転（増加）」と回答した企業割合から「悪化（減少）」と回答した企業割合を差し引いた値です。
- ② このBSIから、「売上げが何%伸びたか」など計数的な測定はできませんが、景気の転換点（景気の山、谷）や「好転感が県内の各企業にどの程度広がっているか」といった「浸透度」をみるのが可能です。
- ③ 前期比は季節性が入りやすいので、前年同期と比較することも必要です。

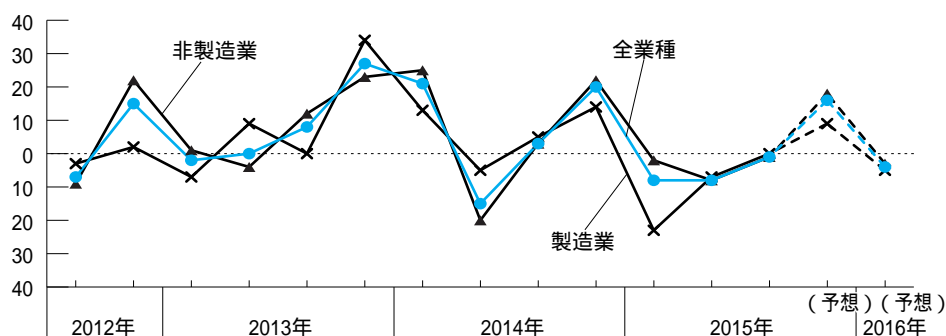
【2015年10～12月期の予想】 業況判断は改善する見通し

10～12月期の予想は、緩やかな景気回復が続く中、7～9月期に比べ、全業種の売上げBSI（ $\Delta 1 \rightarrow 16$ ）、収益BSI（ $\Delta 2 \rightarrow 12$ ）、業況判断BSI（ $\Delta 13 \rightarrow 5$ ）はともに改善する見通し。また、この業況判断BSIは、前年同期の実績（3）とほぼ横ばいとなっている。

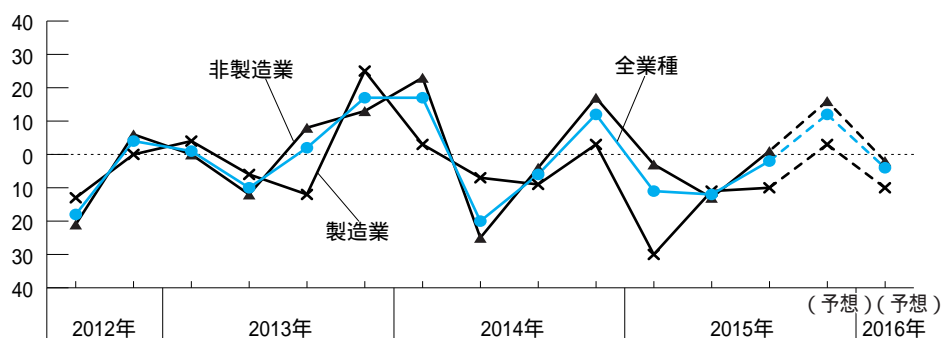
【2016年1～3月期の予想】 業況判断は悪化する見通し

来年1～3月期の予想は、好転を予想する企業の比率が大きく低下していることから、10～12月期に比べ、売上げBSI（ $16 \rightarrow \Delta 4$ ）、収益BSI（ $12 \rightarrow \Delta 4$ ）、業況判断BSI（ $5 \rightarrow \Delta 9$ ）はともに悪化する見通し。もっとも、この業況判断BSIは、前年同期実績（ $\Delta 15$ ）を上回る見通しとなっている。

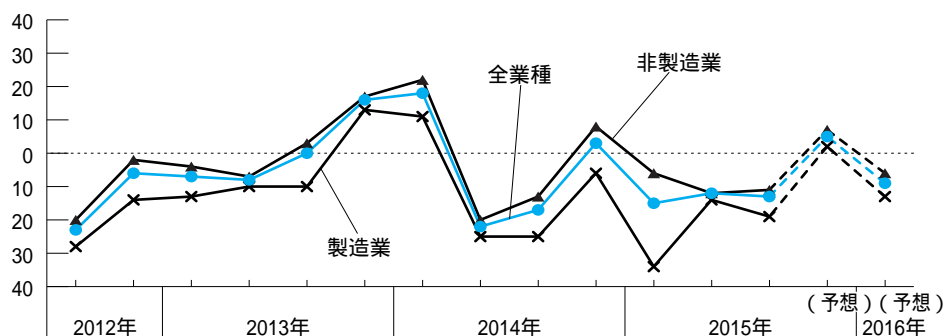
(1) 売上げBSI



(2) 収益BSI



(3) 業況BSI



2. 製造業の動向

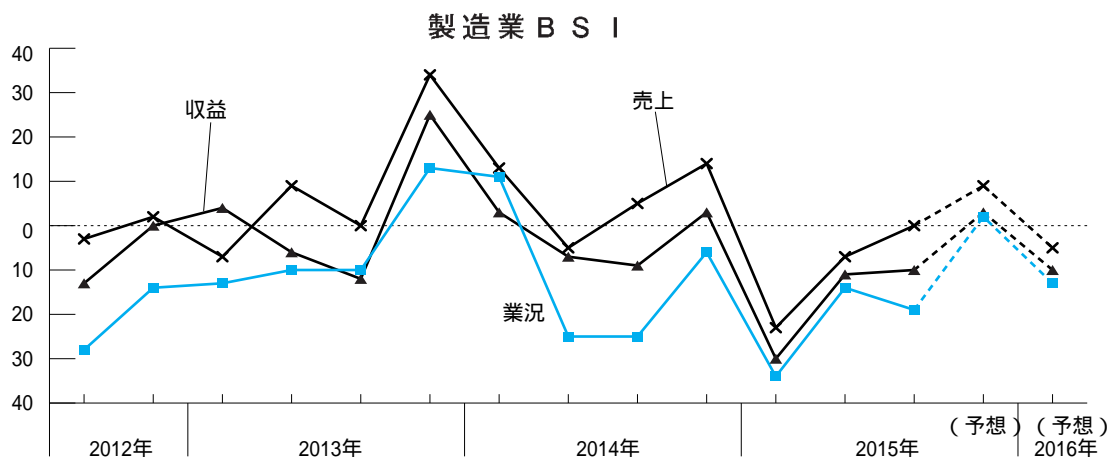
【製造業の現状】 業況判断は悪化し、前回調査時予想よりも低い水準

前期に比べ、売上げBSI ($\Delta 7 \rightarrow \pm 0$ (前回調査時の予想9))は改善、収益BSI ($\Delta 11 \rightarrow \Delta 10$ (同7))はほぼ横ばい、業況判断BSI ($\Delta 14 \rightarrow \Delta 19$ (同1))は悪化と分かれた結果となった。前年同期と比べると、売上げBSI ($5 \rightarrow \pm 0$)と業況判断BSI ($\Delta 25 \rightarrow \Delta 19$)は改善、収益BSI ($\Delta 9 \rightarrow \Delta 10$)はほぼ横ばいとなっている。

【先 行 き】 業況判断は、10~12月期は改善の一方、1~3月期は悪化の見通し

10~12月期の予想をみると、当期に比べ、売上げBSI ($\pm 0 \rightarrow 9$)、収益BSI ($\Delta 10 \rightarrow 3$)、業況判断BSI ($\Delta 19 \rightarrow 2$)はともに改善する見通し。また、この業況判断BSIの予想は、前年同期 ($\Delta 6$)よりも8ポイント上回っている。

来年1~3月期の予想は、10~12月期予想に比べ、売上げBSI ($9 \rightarrow \Delta 5$)、収益BSI ($3 \rightarrow \Delta 10$)、業況判断BSI ($2 \rightarrow \Delta 13$)はともに悪化する見通し。もっとも、この業況判断BSIの予想は、前年同期 ($\Delta 34$)よりも21ポイント上回っている。



3. 非製造業の動向

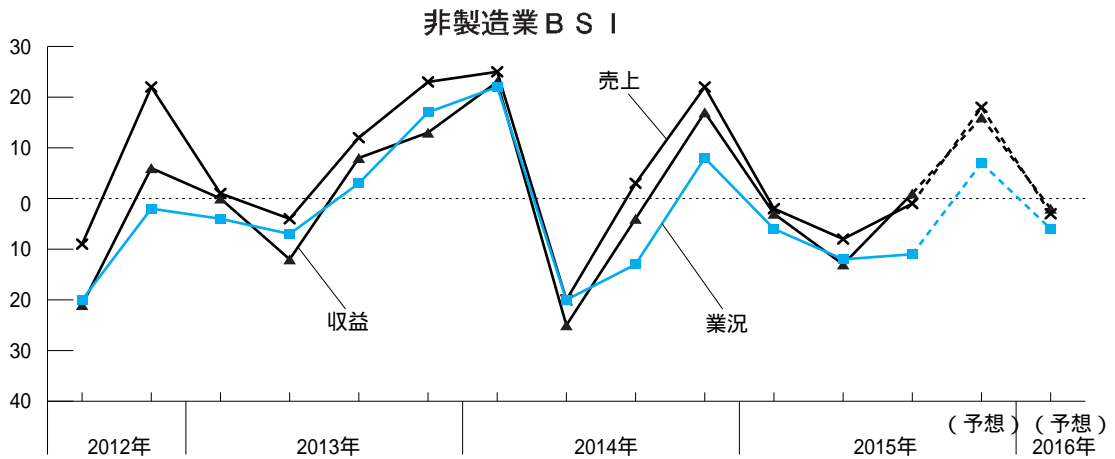
【非製造業の現状】 業況判断はほぼ横ばいだが、前回調査時予想よりも低い水準

前期に比べ、売上げBSI ($\Delta 8 \rightarrow \Delta 1$ (前回調査時の予想4))、収益BSI ($\Delta 13 \rightarrow 1$ (同2))は改善、業況判断BSI ($\Delta 12 \rightarrow \Delta 11$ (同 ± 0))はほぼ横ばいとなった。前年同期と比べると、売上げBSI ($3 \rightarrow \Delta 1$)は悪化、収益BSI ($\Delta 4 \rightarrow 1$)は改善、業況判断BSI ($\Delta 13 \rightarrow \Delta 11$)はほぼ横ばいとなっている。

【先 行 き】 業況判断は、10～12月期は改善の一方、1～3月期は悪化の見通し

10～12月期の予想をみると、当期に比べ、売上げBSI (△1→18)、収益BSI (1→16)、業況判断BSI (△11→7) はともに改善する見通し。この業況判断BSIの予想は、前年同期 (8) とほぼ横ばいとなっている。

来年1～3月期の予想は、10～12月期予想に比べ、売上げBSI (18→△3)、収益BSI (16→△2)、業況判断BSI (7→△6) はともに悪化する見通し。この業況判断BSIの予想は、前年同期 (△6) と横ばいである。

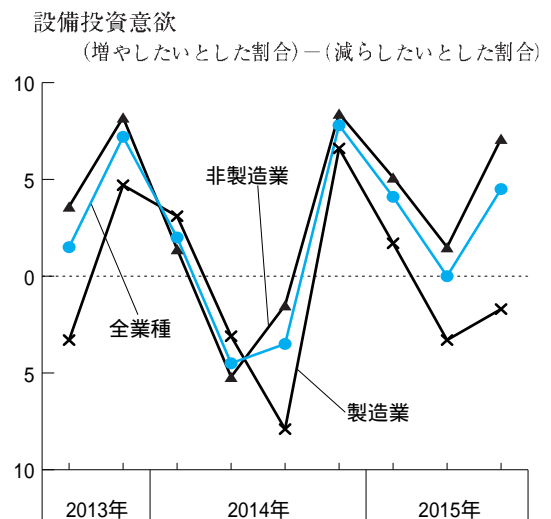


4. 設備投資の動向

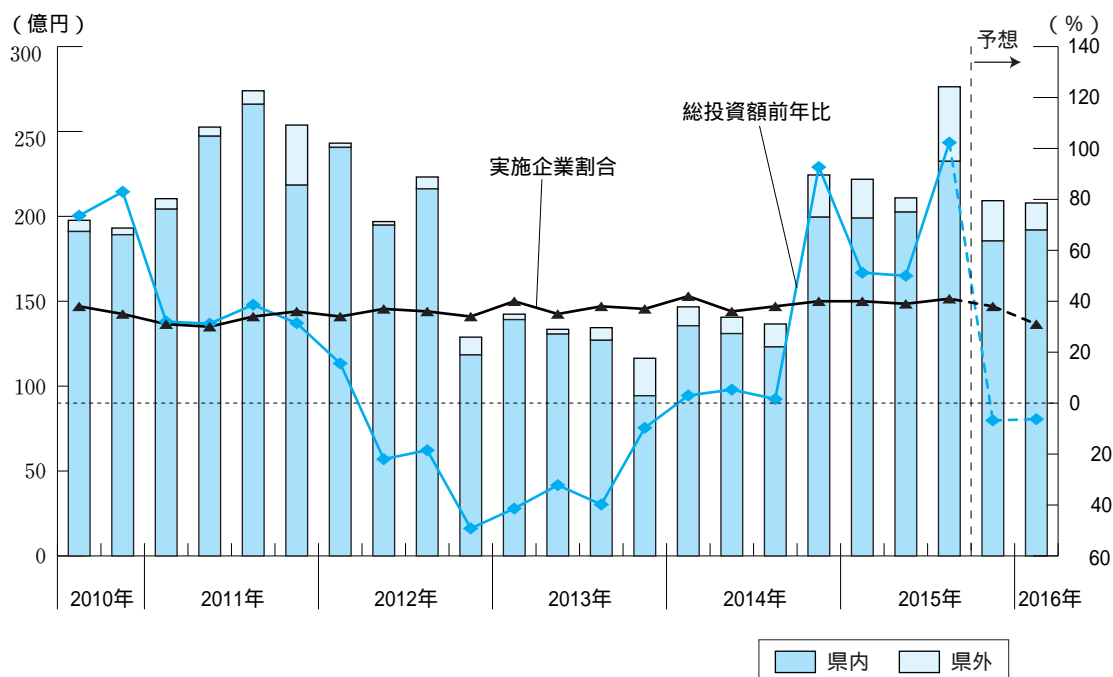
回答企業 (全産業) のうち、当期において1百万円以上の設備投資 (新規リース契約を含む) を実施した企業は全体の41.2%、総投資額は276億32百万円 (うち、県内投資額は232億41百万円) であった。前年同期と比較すると、総投資額は、製造業、非製造業とも大幅に増加したことから、全体でも102.3%増となった (前期比でも31.0%増)。また、実施企業の割合は2.8ポイントの上昇となっている。

一方、先行きの計画をみると、10～12月期の実施企業割合は37.7%で前年同期よりも低下し、総投資額は約209億円で前年同期比6.8%減となる見込みである。来年1～3月期の総投資額も約208億円で同6.3%減の見込みである。

今後1年間の設備投資意欲 (全産業) は、「増やしたい」が18.6%、「減らしたい」が14.1%、「ほぼ変わらない」が67.3%となった。「増やしたい」から「減らしたい」を差し引いた比率 (+4.5ポイント) は、今後の設備投資を増やしたいとする企業が増加していることから3期ぶりに上昇した。



設備投資額（支払ベース）



製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、50.8%で前年同期より2.4ポイント上昇した。一方、総投資額は、大手電子・化学関連部品メーカーでの大幅な増加により、231億13百万円（前年同期110億17百万円）で前年同期比109.8%増加、うち県内投資額は214億49百万円（同105億55百万円）、となっている。

設備投資を目的別にみると、前期と比べ、「増産・拡販のため」、「合理化・省力化」の比率がほぼ横ばい、「既存設備の補修更新」は低下している。

一方、先行きの計画については、10～12月期の総投資額は約182億円で前年同期比7.6%減、来年1～3月期は約186億円で同1.9%減の見込みである。

今後1年間の投資意欲について、先行き「増やしたい」とする企業割合（22.0%）が「減らしたい」とする企業割合（23.7%）を1.7ポイント下回ったが、この差は前期（△3.3ポイント）から縮小している。

非製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、37.1%で前年同期より3.3ポイント上昇した。また、総投資額は、建設（主に再生可能エネルギー関連）や小売、サービスでの増加により、45億19百万円（前年同期26億44百万円）で前年同期比70.9%増加、うち県内投資額は17億92百万円（同17億53百万円）、となっている。

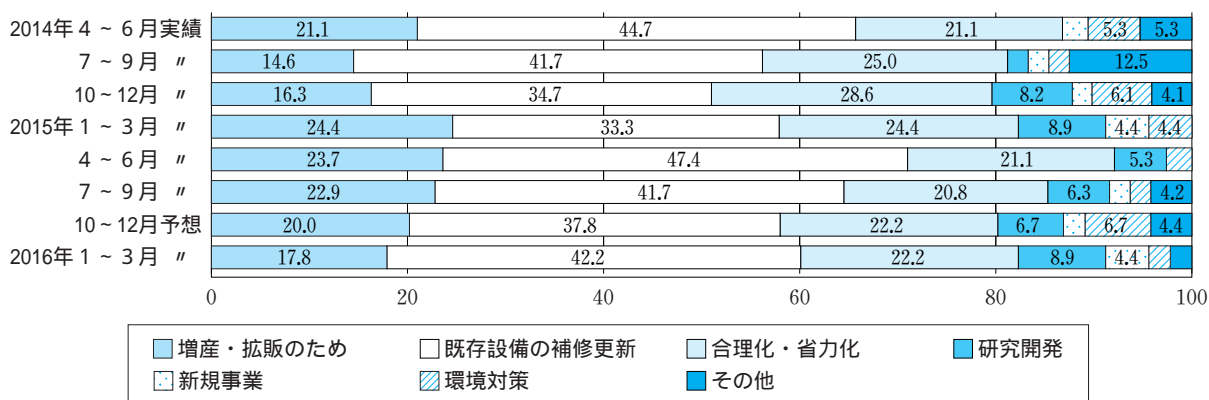
目的別にみると、前期と比べ、「既存設備の補修更新」、「合理化・省力化」の比率が低下した一方で、「拡販のため」は上昇した。

一方、先行きの計画については、10～12月期の総投資額は約27億円で前年同期比0.5%減、来年1～3月期は約22億円で同32.0%減となる見込みである。

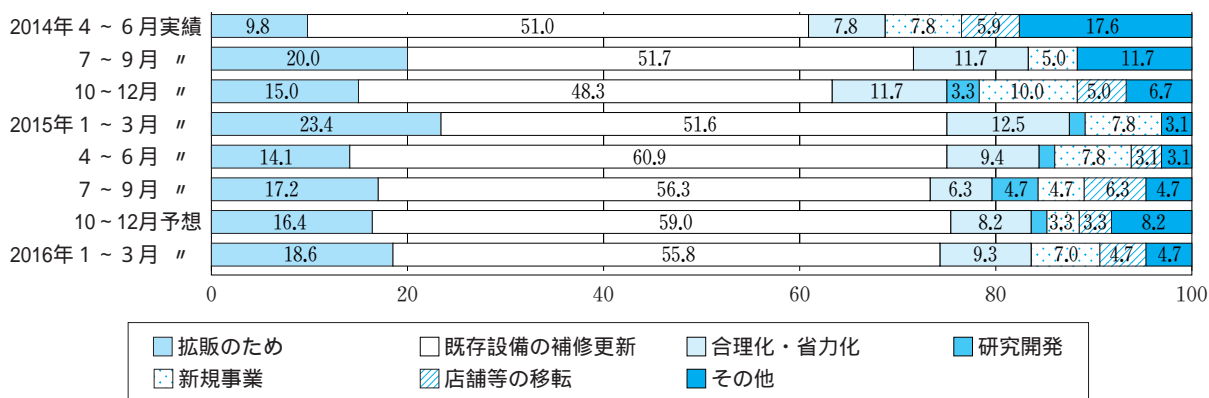
今後1年間の投資意欲は、先行き「増やしたい」とする企業割合（17.1%）が「減らしたい」とする企業割合（10.0%）より7.1ポイント上回り、この差も前期（+1.5ポイント）から拡大している。

設備投資の目的

(1) 製造業



(2) 非製造業



(複数回答)

回答企業の概要

		(社)		
		総数	製造業	非製造業
資本金規模	1百万円未満	0	0	0
	1～3百万円未満	1	1	0
	3～5百万円未満	3	0	3
	5～10百万円未満	4	0	4
	10～50百万円未満	118	31	87
	50～1億円未満	45	16	29
	1億円以上	28	11	17
	計	199	59	140
従業員数	10人未満	15	5	10
	10～30人未満	45	11	34
	30～50人未満	43	10	33
	50～100人未満	39	8	31
	100～200人未満	30	11	19
	200～300人未満	9	6	3
	300～	18	8	10
	計	199	59	140

	業種	回答
製造業	食料品	7
	繊維製品	4
	木材・木製品	11
	パルプ・紙	2
	化学工業	7
	窯業・土石	5
	機械・金属	17
	その他	6
	計	59
	非製造業	建設業
運送業		15
卸売業		42
小売業		26
サービス業		37
その他		1
計		140
総数	199	

参 考 資 料

B S I

(1) 業況判断

(単位：%，ポイント)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2014年 1～3月実績	37	44	19	18	30	51	19	11	41	40	19	22
4～6月々	14	50	36	△22	11	53	36	△25	16	48	36	△20
7～9月々	11	61	28	△17	9	57	34	△25	12	63	25	△13
10～12月々	24	55	21	3	20	54	26	△6	27	54	19	8
2015年 1～3月々	16	53	31	△15	9	48	43	△34	20	54	26	△6
4～6月々	16	56	28	△12	20	46	34	△14	14	60	26	△12
7～9月々	12	63	25	△13	12	57	31	△19	11	67	22	△11
10～12月予想	20	65	15	5	22	58	20	2	19	69	12	7
2016年 1～3月々	11	69	20	△9	12	63	25	△13	11	72	17	△6

(2) 売上げ判断

(単位：%，ポイント)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2014年 1～3月実績	44	33	23	21	41	31	28	13	46	33	21	25
4～6月々	28	29	43	△15	32	31	37	△5	26	28	46	△20
7～9月々	31	41	28	3	33	39	28	5	30	43	27	3
10～12月々	44	32	24	20	39	36	25	14	46	30	24	22
2015年 1～3月々	28	36	36	△8	22	33	45	△23	31	36	33	△2
4～6月々	29	34	37	△8	31	31	38	△7	28	36	36	△8
7～9月々	27	45	28	△1	32	36	32	0	25	49	26	△1
10～12月予想	36	44	20	16	34	41	25	9	36	46	18	18
2016年 1～3月々	21	54	25	△4	24	47	29	△5	20	57	23	△3

(3) 経常利益判断

(単位：%，ポイント)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2014年 1～3月実績	41	35	24	17	36	31	33	3	43	37	20	23
4～6月々	24	32	44	△20	31	31	38	△7	21	33	46	△25
7～9月々	26	42	32	△6	25	41	34	△9	26	44	30	△4
10～12月々	36	40	24	12	31	41	28	3	39	39	22	17
2015年 1～3月々	26	37	37	△11	22	26	52	△30	28	41	31	△3
4～6月々	24	40	36	△12	28	33	39	△11	22	43	35	△13
7～9月々	27	44	29	△2	29	32	39	△10	26	49	25	1
10～12月予想	33	46	21	12	32	39	29	3	34	48	18	16
2016年 1～3月々	20	56	24	△4	22	46	32	△10	19	60	21	△4

(注) B S I = (好転) - (悪化)